

わたしたちが目指す新潟のまちの姿は、交通が発達していて便利なまちです。何故そのようなまちを目指すのかと言うと、新潟は雪が積もるので公共交通、車などでの移動が不便だからです。冬ではなくてもバスや電車などでは環境負荷や渋滞の面でも問題があります。そこでわたしたちは、L R T の導入を考えました。L R T は環境負荷が少なく、バリアフリー化されており、路面電車なので定時運行します。L R T を導入すれば、新潟の交通は便利になります。

では、具体的なプランについて説明します。プランは5点あります。1点目、L R T を通す軌道は2本あります。1つめは駅～ビッグスワン周辺、2つめは駅～古町周辺です。2点目、完成は2013年までとします。国体には導入に時間がかかるため、間に合いません。しかし、現時点で地球温暖化が進んでいるので、CO₂削減のためにもなるべく早期の設置をします。3点目、雪対策としてL R T の軌道にロードヒーティングを設置します。ロードヒーティングとは、道路を暖めて雪をとかすものです。道路の下にパイプを通し、積雪と気温をセンサーが感知し、自動で作動するしくみです。4点目、L R T だけが通れるトランジットモールをつくります。トランジットモールとは、一般車両の利用を制限し、走行車、自動車とバス、路面電車などの公共交通機関の利用性を高め街のにぎわいを創出するものです。5点目、L R T の利用者数が新潟市の人口70万人の7%に満たない場合は赤字経営になることが予想されるため、条例をつくり車の通行を少し制限します。

このようなプランをたてることによってメリットが4点できます。1点目、軌道を走っているため渋滞にまきこまれず、ラッシュ時にはとてもよいです。2点目、L R T は低床式車両となっており、バリアフリー化が進んでいます。そのためお年寄り、小さな子供等も安心して乗り降りができます。3点目、L R T は他の新交通システムに比べて1km 22億円と、とても安いです。4点目、L R T はCO₂排出量がバスの約2分の1と少なく、自家用車とでは約6分の1と少ないです。これは地球温暖化防止に向けて大きな一歩となります。

以上のことからわかるように、L R T の導入には多くのメリットを含んでいます。なので未来の新潟にL R T を通すことを提案します。